

平成21年度11月補正予算の概要

平成21年11月17日

1 予算規模（一般会計）

補正額 9,190百万円（平成20年度11月補正 1,897百万円）
補正後 393,454百万円（対前年度同期 345,231百万円 +14.0%）
補正前 384,264百万円

財源	国庫支出金	8,751百万円、	県債	11百万円
	基金繰入金	37百万円		
	一般財源(繰越金)	226百万円	など	

2 主な事業

新型インフルエンザワクチン接種費助成事業 332百万円

優先接種対象者の予防接種費用について、経済的事情等により減免が必要と認められる場合に減免を行った市町村に対し補助するのに要する経費 (健康政策課)

医師搭乗型消防防災ヘリ整備事業 19百万円

(H22債務負担行為 33百万円)

医療チームが鳥取県消防防災ヘリコプターに搭乗し救命活動を行う体制を整備するために必要な医療機器整備を行うのに要する経費 (医療政策課)

救命救急センター施設整備事業 (H22債務負担行為 227百万円)

鳥取大学医学部附属病院救命救急センターの充実(移転増築)に対し補助するのに要する経費 (医療政策課)

緊急雇用創造プログラム推進枠(制度要求)

国の緊急雇用対策により要件が緩和された緊急雇用創出事業について、今年度の未執行分5千万円を「緊急雇用創造プログラム推進枠」として設定し、介護雇用、グリーン雇用創造等を推進する (雇用人材総室)

職業訓練事業費 4百万円

(H22~23債務負担行為 68百万円)

厳しい雇用情勢に対応し、県立高等技術専門校において、新規高校卒業未就職者を対象とした訓練及び離職者を対象とした訓練の充実を図るのに要する経費 (雇用人材総室)

次世代電気自動車共同研究事業	130百万円
次世代電気自動車の量産化モデル車の共同開発に参加する県内企業へ支援するのに要する経費 (経済通商総室)	
全国瞬時警報システム整備事業	139百万円
全国瞬時警報システム（J－ALERT）を整備する市町村に対し、専用受信機の整備等に要する経費を補助するとともに、県の専用受信機に新たな機能を加えるための改修を行うのに要する経費 (防災チーム)	
定住自立圏等民間投資促進交付金	83百万円
定住自立圏の構成市町村内で地域医療の充実に資する事業を実施する民間事業者に対し、初期投資に要する経費を補助するのに要する経費 (自治振興課)	
米子駅バリアフリー化支援事業	1百万円
	(H22～30債務負担行為 11百万円)
JR西日本が実施する米子駅バリアフリー化事業に対し、米子市が補助するエスカレーター整備に要する費用について補助するのに要する経費 (交通政策課)	
○ 国の「経済危機対策」に伴う基金の造成 <7,887百万円>	
鳥取県地域医療再生基金 (医療政策課)	5,000百万円
鳥取県地域活性化・公共投資臨時基金 (財政課)	2,861百万円
	など